

(8)

教育委員会の目標

「未来を切り拓く人間力」を 育みます

学校教育では、未来を担う子どもたちのために教育環境を整え、生きる力を育み、郷土を愛し、自らの手で未来を切り拓く人材を育てていきます。

生涯学習分野では、市民が、いつでも自由に学習できる機会や場の提供、ニーズを把握した図書の充実、スポーツを行える環境の整備に努めるとともに、各種講座や教室を開催し、生きがいに寄与していきます。

【実現に向けて】

教育総務課

- 教育行政の総合的な企画・調整や、学習環境の充実を図ることにより、安心して教育を受けられるまちを目指します。

学校教育課

- 生きる力を育む教育の充実を目指します。

健康給食推進室

- 学校給食や食育を通し、子どもたちの心と身体の健やかな成長を支えます。

生涯学習スポーツ課

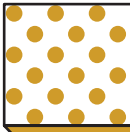
- いつでも心豊かに学び、スポーツに親しみ、生きる喜びを実感できるようにします。

図書館

- 誰もが快適に利用でき、市民の知と交流の拠点となる図書館を目指します。

中央公民館

- 生涯を通じて様々な学習ができるまちを目指します。



教育総務課

めざすまちの姿

教育行政の総合的な企画・調整や、
学習環境の充実を図ることにより、
安心して教育を受けられるまちを目指します。

◆ めざすまちの姿を設定した背景と想い

教育行政の総合的な企画・調整を行うほか、子どもたちが経済的な理由により進学を諦めることのないよう奨学金制度の周知徹底を図ることによってその活用を進めるとともに、機能的で快適な教育施設を提供することなどにより、安心して教育を受けられる環境を整えたいと考えています。

◆ めざすまちの姿を達成するための課題

- 専修学校や大学に進学する場合、授業料や一人暮らしの生活費など多額の費用がかかることから、経済的理由で、進学をあきらめることのないよう支援が必要です。
- 奨学金の返還は、卒業した奨学生の経済的負担となるため、支援が必要です。
- 子どもたちが快適に教育を受けられるようにするためには、教育施設の老朽化対策や長寿命化を図る必要があります。
- 学校施設が常に健全な状態を維持できるよう、適切に維持管理を行っていくことが必要です。

◆ 課題を解決するための取組み

奨学金の貸与

- 現行の奨学資金や入学一時金など就学支援制度の周知徹底を図り活用を進めます。
- 経済的な支援制度のあり方について調査・研究を進めます。

学校等施設の改築・改修

- 教育環境の充実を図るため、計画的な学校施設の改修や改築、長寿命化などに取り組むとともに、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）を実現するため、環境や経済性に配慮した施設整備のあり方についても調査・研究を進めます。



学校等施設の維持管理

- 学校等の施設が、常に健全な状態を維持できるよう、適切に維持管理を行い、安全性・機能性の確保に努めます。



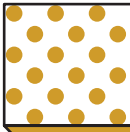
白河第二中学校



関連する計画

● 公共施設等総合管理計画

● 公共施設個別施設計画



学校教育課

めざすまちの姿

生きる力を育む教育の充実を目指します。

◆ めざすまちの姿を設定した背景と想い

社会構造の急速な変革が見込まれる中、変化の激しい予測困難な時代になっても未来を担う子どもたちには、自分の道を切り拓きたくましく歩んで行く生きる力を培ってほしいと考えています。そのために、確かな学力と豊かな心と、健康な体をバランス良く育てていくことが重要であると考えています。

◆ めざすまちの姿を達成するための課題

- 主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善を図る必要があります。
- 基礎的な知識・技能を習得し、思考力、判断力、表現力のさらなる向上を図る必要があります。
- ICT 利活用のための計画的な基盤整備と、授業の質的改善を推進していく必要があります。
- 思いやりの心など社会性や協調性を育む道徳教育・人権教育の充実を図る必要があります。
- 各種調査結果に基づき、体力と運動能力の向上を図る必要があります。
- 郷土愛を育むため、郷土の資源をいかし歴史や伝統文化を学ぶ機会をさらに充実する必要があります。
- 児童生徒の障がいの状況に応じた指導が行えるよう、特別支援教育の充実を図る必要があります。
- 幼小連携し、幼児期の教育と児童期の教育を円滑に接続する必要があります。
- 今後さらに進む少子化に対応した教育環境を整備していく必要があります。
- 児童生徒の学校生活に係る就学の負担軽減のため、支援体制をさらに充実する必要があります。

◆ 課題を解決するための取組み

確かな学力の向上

- 授業を改善し、基礎・基本の定着を徹底し活用力等の向上を図ります。
- 家庭学習や規則正しい生活習慣を身につけるために家庭との連携を推進します。
- 教育活動全体を通じた読書力を基盤とした学力向上を図ります。
- 学校司書の活用や図書・教材等の整備により、学校図書館機能を強化し読書習慣を確立します。



- ICT活用などによる学びの変革に対応した授業スタイルを進めます。
- ALT（外国語指導助手）※1を活用し英語によるコミュニケーション能力を育成します。

豊かな心の育成

- いじめや不登校の防止に向け、子どもの心に寄り添った生徒指導を推進します。
- 児童生徒の居場所となる学級づくりを推進します。
- スクールカウンセラーを活用し、教育相談体制の充実を図ります。
- 「特別の教科 道徳」の充実に向けた指導方法を工夫し道徳・人権教育を推進します。

健やかな体の育成

- 体力・運動能力テストなどの結果をもとに、児童生徒の発達段階に応じた指導を行います。
- コーディネーショントレーニング※2の普及を推進します。
- 健康で安全な生活ができるよう教育活動全体を通して取り組みます。
- 食育の全体計画、年間指導計画に基づき、食育の充実と推進を図ります。

郷土の歴史教育の充実

- 教育活動全体を通して郷土愛を育む教育を推進します。
- 学校と地域の連携・協働を図り、地域の資源を活用した探究的な学びを推進します。
- 児童生徒自ら郷土の良さを発信する活動を推進します。

特別支援教育の充実

- 児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導を充実させます。
- 関係機関との積極的な連携により、多面的な指導や支援を図ります。

幼児教育の充実

- 幼児の特性や発達段階に応じた教育により、一人ひとりの望ましい発達を促します。
- 家庭・地域・小学校等との連携をいかした取組みを推進します。

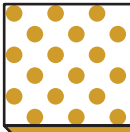
魅力ある教育環境の整備

- 少子化に伴う教育上の課題を分析し、必要な教育条件を改善することでより良い学習環境の整備を図ります。
- 就学に必要な経済的負担を軽減するための支援を充実させていきます。

用語解説

※1 ALT（外国語指導助手）：外国語が母語である外国語指導助手のこと。

※2 コーディネーショントレーニング：運動による身体への刺激を通して、学習能力を高め、知性と感性の向上を図ることを目的としたトレーニングのこと。



健康給食推進室

めざすまちの姿

学校給食や食育を通し、子どもたちの心と身体の健やかな成長を支えます。

◆ めざすまちの姿を設定した背景と想い

近年、食をめぐる状況は刻々と変化しており、生涯の健康づくりにおいては、乳幼児期からの生活習慣病対策など各年代の特性を踏まえた対応が求められています。

成長期の子どもたちにおいては、安全・安心かつ栄養バランスのとれた学校給食や食育を通して、食に関する正しい知識を習得するとともに、地元農畜産物に愛着や誇りを持ち、生涯にわたり健全な食生活を送れるようになって欲しいと考えています。

◆ めざすまちの姿を達成するための課題

- 安全安心な給食を提供するためには、市内 11 箇所ある給食施設の設備について、計画的な整備を行っていく必要があります。
- 健全な食生活を実践することができる人を育てるためには、学校における食育の推進が必要です。
- 子どもたちが地元農畜産物に関心を持つためには、学校給食における地元食材の積極的な活用に取り組む必要があります。
- 栄養バランスの取れた給食をより安定的に提供するため、学校栄養職員の計画的な配置が重要です。

◆ 課題を解決するための取組み

施設整備更新計画に基づく機器更新の実施

- 学校給食衛生管理基準に基づいた「安全・安心な給食」を提供するため、各給食施設の設備の取替や修繕を実施します。

学校における食育の推進

- 行事食や郷土食、食育メニューなどを取り入れた多彩な給食を提供します。



- 地場産物活用状況調査の実施により現状を把握し、給食における地元農畜産物の活用について、積極的に取り組みます。
- 各学校において、栄養教諭等による年代に応じた適切な食育指導を実施します。

学校給食運営を担う栄養士の確保

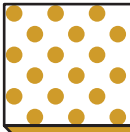
- 学校給食単独実施学校における学校栄養職員の計画的な適正配置に努めます。



学校給食の風景

関連する計画

- 第3次白河市食育推進計画
- 公共施設等総合管理計画
- 公共施設個別施設計画



生涯学習スポーツ課

めざすまちの姿

いつでも心豊かに学び、スポーツに親しみ、
生きる喜びを実感できるようにします。

◇ めざすまちの姿を設定した背景と想い

「人生 100 年時代」に向けて社会が大きな転換点を迎えるなかにあって、生涯学習スポーツの重要性は一層高まっています。

市民一人一人が生涯を通して学ぶことのできる環境の整備、多様な学習機会の提供、学習した成果が適切に評価され、それをいかして様々な分野で活動できるようにするための仕組みづくりなど、生涯学習社会の実現のための取組みを進めていきます。

また、生涯に渡り、いつでも、自由に学習機会を選択し学べ、その成果が適切に評価される社会の実現を目指します。

同時に市民には健康で活力に満ちた明るい生活を送るため、心身の健康の保持増進に重要な役割を果たす運動やスポーツを日常に取り入れるなど、スポーツに対する意識も高めてほしいと考えています。

◇ めざすまちの姿を達成するための課題

- 「人生 100 年時代」に向けて、ライフステージに合わせた学びの必要性が高まるとともに、高齢者の健康に関する生涯学習に関心が高まっており、ライフステージに応じた学びの機会を提供する必要があります。
- 少子高齢化や人口減少の進行に伴い、担い手不足による地域社会の教育力や、核家族化による家庭の教育力の低下がみられるため、地域が一体となり、子どもたちが体験等を通じて自ら学ぶ力を育成する必要があります。
- 市民の生きがいづくりや生涯学習へのニーズの高まりに応じていく必要があります。
- スポーツは適切に継続することで、生活習慣病の予防・改善や介護予防につながり、健康寿命の延伸や医療費抑制への貢献が期待されることから、ライフステージに応じた生涯スポーツの推進が必要です。
- 少子化に伴う中学校の生徒数の減少や部活動顧問の不足などにより、運動部の廃部や休部、大会に出場できなくなるなどの影響があることから、多種目、多志向性をもっている総合型地域スポーツクラブ^{*}の支援やそれを支える人材の育成などスポーツ環境を整備する必要があります。



◆ 課題を解決するための取組み

ライフステージに応じた学びの機会の提供

- （子ども・青少年の学び）音楽・美術・書道・演劇等の芸術文化やスポーツなどに親しむ機会の創出をはじめ、多様な体験や学習ができる機会を提供していきます。
- （成人の学び）現代的・社会的課題について考え、課題解決につながる学習機会を提供していきます。
- （高齢者の学び）高齢者が年齢にとらわれることなく、自由かつ主体的に活動し、自立した生活を送ることができるよう、心身の健康づくり、生きがいつくり、社会参加につながる学習機会を提供していきます。

地域と学校が一体となった学びの促進

- 学校や地域コーディネーターなどと連携しながら、子どもたちが地域について知り、地域の人々となつなげることができる環境を整えていきます。
- 子どもたちを支えるだけでなく、地域住民の生涯学習・自己実現に資するとともに、活動を通じて地域のつながり・絆を強化し、地域の活性化を促進していきます。

生涯学習拠点の充実

- 複合施設をはじめとした生涯学習拠点を充実し、幅広い世代の市民活動が、より活性化するための魅力的な空間となるよう関係各所と一緒に取り組んでいきます。
- 社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、趣味などを始め、新しいことができるよう模索していきます。

ライフステージに応じた生涯スポーツの推進

- （子どものスポーツ）子どもの運動能力の向上を図るため、ジュニアスポーツ教室を開催します。また、子育て中の親子を対象に、子どもが運動やスポーツを体験する大切さと親子で楽しく実践できる運動やスポーツについて学ぶ教室等を開催します。
- （成人のスポーツ）若者や働き盛り世代が仕事帰りなどにスポーツに取り組めるよう、夜間スポーツ教室を開催しスポーツ活動の推進を図ります。
- （高齢者等のスポーツ）高齢者や障がいのある人なども気軽に参加できるスポーツ教室・大会等を開催し、スポーツ活動の推進を図ります。また、障がいのある人とない人との交流が図られるよう、障がいのある人への理解啓発や障がい者団体等との連携強化に努めます。

競技スポーツの向上

- スポーツ関係団体と連携し、各種スポーツ教室・市民総合体育大会等の充実を図ります。
- 競技力の向上や競技人口の拡大につなげるため、レベルアップ型スポーツ教室などを開催します。

生涯学習スポーツ課

誰もが利用しやすいスポーツ施設等の整備と利用促進

- 運動公園内における社会体育施設の改修及び更新については、施設長寿命化計画に基づき、古くなった施設の改修等を進めるとともに、高齢者や障がいのある人にも活動のしやすい環境の整備に努めます。
- スポーツ活動の中心となる小中学校の体育施設は、児童生徒をはじめ、多くの地域住民が利用できるよう、より効率的な開放に努めます。

スポーツを支える団体や人材等の充実

- 子どもから高齢者まで様々なスポーツを愛好する人々が集う総合型地域スポーツクラブの設立を支援します。
- 地域住民のスポーツ活動において、実技指導や助言、地域組織の育成などの役割を担うスポーツ指導者に対し、正しい知識に基づく指導ができるよう必要な支援を行います。



白河市二十歳の集い

関連する計画

- 第3次白河市生涯学習推進計画
- 第2期白河市スポーツ推進計画
- 公共施設等総合管理計画
- 公共施設個別施設計画

用語解説

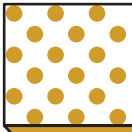
※ 総合型地域スポーツクラブ：幅広い世代の人々が各自の興味関心・競技レベルに合わせ、様々なスポーツに触れる機会を提供する、地域密着型のスポーツクラブのこと。



しらかわ郷里マラソン



白河市民総合体育大会ボッチャ競技



図書館

めざすまちの姿

誰もが快適に利用でき、市民の知と交流の拠点となる図書館を目指します。

◆ めざすまちの姿を設定した背景と想い

図書館は、「基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することをもっとも重要な任務」としています。SDGsの目標においても、「質の高い教育をみんなに」が掲げられており、子どもからお年寄りまで、世代や性別、障がいの有無に関わらず、誰もが快適に利用できる図書館サービスを提供し、市民が豊かな生活を送るためのお手伝いや、生涯学習の推進に寄与していきたいと考えています。

また、白河市立図書館～りぶらん～は白河駅前の好立地となっていることから、少子高齢化による人口減少や、商業施設の衰退が懸念される中心市街地の活性化につなげていくため、あらゆる人々が訪れる交流の拠点となり、交流人口の増加に寄与していく必要があります。

◆ めざすまちの姿を達成するための課題

- 子どもや高齢者、障がい者など、図書館に来ることや読書することが困難な市民もいることから、誰もが図書館サービスを受けられるようにする必要があります。
- 市民の要望が多様化し、蔵書の充実や更新、資料や情報の取り扱いに関する専門知識が求められることから、専門職である司書を拡充する必要があります。
- デジタル化による生活習慣の変化により、10～20代の若者世代の図書館利用が、他の年代に比べ少ないことから、知の拠点としての図書館の活用方法をPRする必要があります。
- 地域交流会議室の利用がピーク時を下回っていることから、利用機会や利用者の増加に向けて積極的な活用を図っていく必要があります。

◆ 課題を解決するための取組み

資料の充実と更新

- 多様なニーズに応えられるよう、市民のリクエストや要望を選書にいかしていきます。
- 一般図書に限らず、視聴覚資料や複製絵画、ボードゲーム、大活字本や点字絵本、朗読CDなども充実させていきます。



- 白河に関する地域資料を収集し、保存を図るとともに、デジタルアーカイブ化^{※1}を推進します。
- 旧館から引き継いだ資料については、経年劣化や内容の陳腐化により活用には堪えないものがあり、適切な除籍や更新を行っていきます。

図書館サービスの向上

- 多様化する市民の要望に応えるため、司書の拡充やスキルアップを図ります。
- 市内4館の全域サービス^{※2}をより利用してもらえるよう、普及啓発を行い、市民の利便性を向上させるとともに、各地域の図書館利用の活性化を図ります。
- 関係機関と連携し、地域、児童クラブや学校図書館等へ、資料や情報の提供を行います。
- 移動図書館車を活用して、高齢者サロンなどを訪問し、来館が困難な市民の読書活動を支援するとともに、イベント会場などを訪問して図書館の利用を広くPRしていきます。
- 資料の貸出・返却の効率性と確実性を高めるため、自動貸出・返却システムの適切な運用と更新を行っていきます。
- デジタル化による生活習慣の変化に対応するために、ウェブサイトからの予約やリクエストサービスも適切に運用・更新するとともに、SNS等を活用し、図書館サービスを広くPRしていきます。
- 利用者の安全性や利便性を高め、誰もが快適に図書館を利用できるよう、図書館施設や設備の適切な維持管理と更新を行っていきます。

地域交流エリアの活用

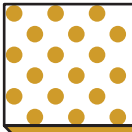
- おはなし会や映画上映会、図書館講座や講演会など、多彩な図書館行事を開催していきます。
- 多くの人々に情報提供や活動の場として利用してもらい、市内外のあらゆる世代の人々が相互に交流できる場としていくため、地域交流会議室の利用の拡大に向けてPRを行うとともに、地域交流エリア予約システムを改良し、利用手続きの効率化・簡略化を図っていきます。



- 白河市子ども読書活動推進計画
- 公共施設等総合管理計画
- 公共施設個別施設計画

用語解説

- ※1 デジタルアーカイブ：資料を電子データで管理し、保存と利活用につなげる仕組みのこと。
- ※2 全域サービス：市内4館をネットワークで結び、どの館でも貸出・返却ができるサービスのこと。



公民館

めざすまちの姿

生涯を通して様々な学習ができるまちを目指します。

◆ めざすまちの姿を設定した背景と想い

少子高齢化の進展や価値観の多様化など、社会が急激に変化する中、公民館で活動する市民の固定化や、高齢化が進んでいます。

公民館は、社会の変化、価値観の多様化に対応するため、市民のニーズを的確に把握し、様々な年代を対象に魅力ある講座・教室を主催します。また、市民が様々な活動を通じ、健康づくりや生きがいづくりができる場として、快適に利用できる環境を提供したいと考えています。

◆ めざすまちの姿を達成するための課題

- すべての市民が快適に利用できる環境を整備する必要があります。
- インターネットやスマホ等から様々な情報を容易に得られる社会となっていることから、多様化した価値観に対応した主催事業を企画・開催していく必要があります。
- 社会情勢が変化する中、市民が生きがいをもって生きていくため、自らの学びの成果を地域に還元していけることが重要です。

◆ 課題を解決するための取組み

生涯学習機会の提供

- 市民が求める主催講座・教室を開催するとともに、社会情勢の変化を捉えた講座を提案していきます。
- 自分の人生を切り拓き、対話や協働を通じて社会や地域をけん引することができる人材を育成する、ボランティア講座を開催していきます。

学習環境の整備

- 子どもから高齢者、障がいを持つ人など、すべての市民が快適に利用することができる施設となるよう、環境を整えていきます。



レディースセミナー(特食育講座)



習作展 絵手紙愛好会

関連する
計画

- 白河市複合施設整備基本計画
- 公共施設等総合管理計画
- 公共施設個別施設計画